

玉篇の研究 目次

緒言……………

玉篇の研究前篇

(一) 玉篇考正篇—顧野王及び原本玉篇

第一章 玉篇に關する記載

1	漢土の書籍……………	七
2	本朝の書籍……………	一八

第二章 顧野王

1	傳記……………	二四
2	著作……………	元

第三章 玉篇

1	卷數……………	三
2	述作の年月……………	四

目次

3	其の出でたる時代	三七
4	その分部	四〇

第四章 現存せる原本

1	總説	四三
2	各説	四四
(1)	卷第八	四四
(2)	卷第九	四四
(イ)	今の早稲田大學本	四四
(ロ)	福井本	四四
(3)	卷第十八之後分	四五
(4)	卷第十九	四五
(5)	卷第二十二	四五
(6)	卷第二十四	四五
(7)	卷第二十七	四五
3	原本玉篇の印行	四六
(1)	柏木本	四六
(2)	古逸叢書本	四六
(3)	高山寺本	四六
(4)	神宮文庫本	四六

(5)	原本玉篇本	四七
(6)	訪書餘録に收められたる者	四七
(7)	東方文化學院景印本	四七
4	此等の諸本は同種なりや	四七
5	原本の筆誤	四八

第五章 玉篇の體貌

1	收字の範圍	四八
2	或爲	四八
3	音切	四九
4	訓義	四九
5	説文との比較 方言郭注の較正	五二
6	字林との比較	五二
7	篆隸萬象名義との比較 新撰字鏡との關係	五三

(二) 玉篇考 續篇―顧氏の舊に非ざる玉篇

第一章 宋本	五五
--------	----

1	總說附、上元本	二五
2	原本と宋本との比較	二〇三
3	宋本の改張	一〇五
4	同	一〇七
5	同	一〇九
6	同	一一三
7	同	一一六
8	廣韻との關係	一一三
9	今の宋本以前のもの	一一三
10	分毫字樣	一二九
11	四聲五音九弄反紐圖	一三〇
	(1) 五音聲論	一三一
	(2) 序文	一三五
	(3) 五音之圖	一三五
	(4) 九弄反紐圖	一四五
	附錄 唐院本九弄十紐圖につきて	一五五
12	各本	

第二章 元本

1	總說	二六三
2	玉篇廣韻指南に就きて	二六四
	(1) 字有六書 字有八弊	二六六
	(2) 切字要法	二六七
	(3) 辨字五音法	二六八
	(4) 辨十四聲法	二六九
	(5) 三十六字母五音五行清濁傍通撮要圖	二七一
	(6) 三十六字母切韻法	二七一
	(7) 切韻內字釋音	二九一
	(8) 辨四聲輕清重濁總例	二九二
	(9) 双聲疊韻法	二九四
	(10) 羅文反樣	二九六
	(11) 奇字指迷	二九六
	(12) 字當避俗	二九六
	目次	五

(13) 字當從正	……	三〇〇
(14) 字之所從	……	三〇一
(15) 字之所非	……	三〇五
(16) 證疑	……	三〇九
3 宋本との比較	一 ……	三一〇
4 同	二 ……	三一〇
5 同	三 ……	三一一
6 元本の誤謬	……	三二五
7 各本	……	……
(1) 圓沙書院延祐本	……	三二七
(2) 同 泰定本	……	三三〇
(3) 內閣文庫十一行本	……	三三一
(4) 同 十二行本	……	三三一
(5) 內藤博士藏十二行本	……	三三五
(6) 至正丙申本	……	三三七
(7) 至正丙午本	……	三三八
(8) 建安鄭氏本	……	三三九
(9) 建安蔡氏本	……	三三九

第三章 明本

8 各本の系統	……	三三八
(10) 錢琴銅劍樓本	……	三三九
(11) 天祿琳瑯書目に載せたるもの	……	三四四
(12) 開封府所翻元本	……	三四五
1 總説	……	三四七
2 各本	……	……
(1) 永樂中朱氏與耕堂本	……	三三八
(2) 弘治辛酉文明書堂本	……	三三九
(3) 永樂甲午廣勤書堂本	……	三四〇
(4) 宣德中清江書堂本	……	三四一
(5) 弘治中詹氏進德堂本	……	三四一
(6) 萬曆初元益王府本	……	三四一
(7) 內府司禮監本	……	三四三
(8) 南京國子監本	……	三四四
(9) 開封府翻本	……	三四六
(10) 劉氏明德堂本	……	三四六
(11) 福建書房本附玉篇直音	……	三四八

第四章 清刊本

1	澤存堂本	………	三九
2	棟亭本	………	三三
3	小學彙函本	………	三四
4	鄧氏本	………	三四

第五章 本朝刊本

1	五山板	………	三七
2	慶長九年本	………	三九
3	寛永八年本	………その以前の一	三四
4	同 廿一年本	………	三六
5	慶安二年本附、字集便覧	………玉篇奇字早鑑	三七
6	同 四年本	………	三八
7	萬治二年本	………	三九
8	寛文三年本	………	三九
9	同 四年本	………	四〇
10	元祿五年本	………	三七
11	天保五年官板本	………	三四

第六章 倭玉篇

1	總 說	………	三六
2	各 本		
	(1) 倭玉篇かと云ふもの二種	………	三六
	(2) 長享本	………	三九
	(3) 玉篇要略集	………	三八
	(4) 米澤本	………	三四
	附 此の書の類本 (イ) 便蒙字義 (ロ) 元龜字義	………	三五
	(5) 鈴鹿本	………	三八
	(6) 大槻本	………	三九
	(7) 慶長十年東井本	………	三九
	(8) 同 賢秀本	………	三九
	(9) 同 夢梅本	………	三九
	(10) 同 十五年本	………	三九
	(11) 同 十八年本	………	三九
	(12) 元和縮刷本	………	三九
	(13) 寛永五年本	………	三九
	(14) 同 七年本	………	四〇

(15)	寛永九年三月本	………	四〇〇
(16)	同 九年孟夏本	………	四〇〇
(17)	推定寛永本	………	四〇〇
(18)	寛永十五年本	………	四〇一
(19)	同 十六年本	………	四〇一
(20)	同 二十年本	………	四〇一
(21)	新刊眞艸和玉篇	………	四〇四
(22)	正保三年本	………	四〇五
(23)	同 四年本	………	四〇五
(24)	慶安二年本	………	四〇六
(25)	同 三年本	………	四〇六
(26)	同 四年本	………	四〇七
(27)	同 五年本	………	四〇八
(28)	寛文二年本	………	四〇八
(29)	同 四年本	………	四〇九
(30)	同 七年本	………	四一〇
(31)	同 十年本	………	四一〇
(32)	同 十二年本	………	四一一
(33)	延寶九年本	………	四一一

(34)	増訓畫引和玉圖彙	………	四二二
(35)	小篆増字和玉篇綱目	………	四二三
(36)	改正眞艸畫引大廣益和玉篇 増補二行和玉篇	………	四二四
(37)	篆字和玉篇綱目	………	四二五
(38)	引和玉篇大成	………	四二五
(39)	倭眞艸字引大成	………	四二六
(40)	頭書韻附四聲和訓畫引増益和玉篇	………	四二八
(41)	艸舛本行眞舛左行本	………	四二八

第七章 附録すべきものの三種

1	耶蘇會士刊行の小玉篇	………	四二二
2	朝鮮にて行はれし韻會玉篇と全韻玉篇	………	四二六

玉篇の研究後篇

(一)	玉篇逸文内篇―顧氏原本のと思はるゝ者	………	一
	補 妙法蓮華經釋文成實論天長點所引	………	一五〇
(二)	玉篇逸文外篇―顧氏原本のと趣を異にするもの	………	一五八

新集藏經隨函錄所引	………	一五
龍龕手鑑所引	………	一六

索引

1 前篇にて論及せし文字及び重要な事項の索引	………	1
2 玉篇逸文索引(内篇の補を含ます)	………	12

圖版に收めたる諸本の目次

一 原本(舌鈔本)	………	圖版一の右
二 古逸叢書本	………	同 左
三 宋本	………	同 二の右 三の右
四 元、泰定本	………	同 二の左 五の右
五 元、十一行本	………	同 四の左 六の右
六 元、十二行本	………	同 六の左 八の右
七 明、弘治本	………	同 七の右 九の左
八 清、澤存堂本	………	同 三の左 四の右
九 五山板	………	同 五の左 九の右
一〇 慶長九年前本	………	同 十の右
一一 同 後本	………	同 七の左 八の左 十の左
一二 寛永以前刊本	………	同 十一
一三 玉篇要略集	………	同 十二
一四 便蒙字義	………	同 十三
目次	………	

一五	大槻本……………	圖版十四
一六	賢秀本……………	同十五
一七	夢梅本……………	同十六
一八	寛永二十年本……………	同十七
一九	寛文四年本……………	同十八
二〇	増訓盡引和玉圖彙……………	同十九
二一	小玉篇……………	同二十

玉篇考 玉篇の研究前篇